

【美術科編】

1 家庭学習でできること (教科書の見方・使い方)



見開き1ページの中にいろいろな作品が紹介されています。写真のページ(美術1, P40~41)でいうと「一枚の紙でできる」という共通点がありますが、指輪、コースター、動物の置き物など幅が広いです。授業では全部扱うことはできませんが、よく読んでおくとよいです。作ってみたい(描いてみたい)と思うも

のがあれば真似して描いてみるとよいです。授業で制作をするときに「あ!あれ使えるかも!」と自分の引き出しが増え、作るのも楽しくなります。∩(´ω´)

2 ポイント

☆教科書の使えるところは何でも使おう

美術の教科書は基本的にどこを見てもよいです。他教科に比べ薄い教科書の前半は「絵や彫刻」に関するところ、後半には「デザインや工芸」に関するところが作例とともに載せられています。授業では関連の深いページを取り上げて扱っていますが、他のページを参考にしても全く問題ありません。(例えば絵を描く課題に取り組む時にデザインのページの作品の形や色使いを参考にするなど)教科書の最後には技法の資料も載っています。

☆資料集の使い方

資料集は教科書には載せきれない技法や作品の解説が詳しく載っています。教科書同様に関連の深いページは特に参考になりますが、どのページを見て使っても構いません。いろんな情報が載っているので気に入ったページを見つけて読んでみるのも楽しいでしょう。

3 休校中だからこそできること

- 作品制作をしてみましょう。教科書や資料集にこだわらなくてもよいです。作ってみたい、描いてみたいと思うものに挑戦してみましょう。作品募集しているところに応募する作品をつくってもよいでしょう。
- 美術に関係する番組がいくつかあるので見てみましょう。番組によってはwebサイト上で過去の放送が見られるものもあります。
- 新型コロナウイルス予防・撲滅、医療従事者の方々への感謝・エールなど「今だからこそ伝えたい」というものを作品にして表現してみてもいいですね♪